

2月に予定されているセンターのイベント情報や、
 其他のお知らせについてご案内します。

「世界湿地の日」関連イベント

昨年夏に木道が延長され、今まで見えなかったマングローブ林内の様子が分かるようになり、木道を利用された来館者の皆様からもゴミの多さと清掃活動の必要性について多くのご意見をいただきました。そこで今年は、2月2日の「世界湿地の日」にあわせて、こどもエコクラブのメンバーを中心に、地域の自治会の皆さんにも呼びかけ、木道周辺の清掃活動を行います。

- 日 時：2014年2月8日(日) 13:00~15:00
- 場 所：漫湖水鳥・湿地センター脇木道周辺



※なお、当日は改修工事の影響で漫湖水鳥・湿地センターは臨時休館となっております。今回の清掃活動は、漫湖こどもエコクラブと地域の自治会で実施いたします。あらかじめご了承ください。

野鳥観察会の参加者募集!!

現在、漫湖水鳥・湿地センターは改修工事をおこなっていますが、工事に影響が出ない範囲内で、野鳥観察会を実施することになりました。日程は下記の通りです。ただいま参加者受付中です!!

- 日 時：2014年2月15日(土) 10:00~12:00
- 場 所：漫湖水鳥・湿地センター前広場および木道
- 講 師：※現在調整中
- 定 員：20名
- 対象：小学生以上(※低学年は保護者同伴)
- 参加費：¥100(※保険料として)
- 持ち物:帽子、飲みもの、筆記用具(※双眼鏡、図鑑は貸出いたします。)
- 内 容：漫湖周辺と木道を散策しながら、今の時期に見られる水鳥を中心に観察します。

Topic:

いきものファインダー
 漫湖の風景

23



ダイシャクシギとホウロクシギ。

11月、渡来したクロツラヘラサギの様子を見にとよみ大橋まで出かけた日のことである。この日はすでに満潮で、干潟にはクロツラヘラサギとダイシャクシギが羽を休めているだけだった…。ように見えたのだが、しばらく観察しているとある違いに気が付いた。はじめ2羽だと思っていたダイシャクシギの1羽は嘴の長さに違いがあり、全体に褐色みがやや強い気がした。実は、事前にホウロクシギが1羽、漫湖に飛来している情報が入っていたので、後日、写真を鳥に詳しい方に見てもらった。すると、その鳥(写真上)は、ホウロクシギであることが分かった。今回、はじめて気づいた2種の微妙な違いは、たまたま2羽が並んでいたから気づけた違いであって、もし、ホウロクシギだけであつたら、私は恐らく見分けられなかった。

■ 2013.12/1 — 2013.12/31 { 漫湖で確認された野鳥 …………… 計 38 種 }

漫湖寄鳥見鳥

12/8



物怖じしないムナグロ。

昨年、漫湖で越冬したムナグロの中に、1羽だけ、まったく物怖じしないムナグロがいた。木道周辺の環境が気に入ったのか、冬の間、頻りに姿を見せるようになっていた。人が近寄ってもまったく動じず、近くで観られるとあって、来館者にも喜ばれた。

そのムナグロであろうか？今年もまた1羽、木道周辺に腰を落ち着かせたムナグロがいる。同じ個体かどうか分からないのが残念だが、このムナグロも大分慣れた様子だ。堂々としている。木道の上を颯爽と歩いている姿も目撃した。こんな時、強く思うのである「鳥と会話ができたら…。」

漫湖で確認された鳥類一覧

1. オシドリ	26. リュウキュウツバメ
2. キジバト	27. シロガシラ
3. アオサギ	28. ヒヨドリ
4. ダイサギ	29. ウグイス
5. チュウサギ	30. メジロ
6. コサギ	31. ムクドリ
7. クロツラヘラサギ	32. ホシムクドリ
8. ムナグロ	33. シロハラ
9. ダイゼン	34. イソヒヨドリ
10. シロチドリ	35. キセキレイ
11. チュウシャクシギ	36. ハクセキレイ
12. ダイシャクシギ	37. カワラバト※
13. ホウロクシギ	38. シマキンバラ※
14. アカアシシギ	39.
15. コアオアシシギ	40.
16. アオアシシギ	41.
17. キアシシギ	42.
18. イソシギ	43.
19. ミサゴ	44.
20. サシバ	45.
21. カワセミ	46.
22. ハヤブサ	47.
23. アカモズ	48.
24. ハシブトガラス	49.
25. シジュウカラ	50. ※は外来種

※この観察記録は、毎月実施されている鳥獣保護区の定点カウントの記録と、センターでの観察記録を基にまとめたものです。

■ 2013.11/1 — 2013.11/30 { 漫湖で確認された野鳥 …………… 計 43 種 }

漫湖寄鳥見鳥

11/7



晴れた日には…、

夏のガラガラとした太陽に比べ、秋の透き通るような日差しは、心も体も程よくあたたまり気持ちが良い。晴れの日なんかはなお一層である。

この日も水鳥の撮影を兼ねて観察に出かけたのだが、秋の陽気がいつもより少しだけ上流のほうまで足を向けさせた。しばらく行くと、頭上を大きな鳥が通過した。ミサゴだ。どうやら獲物狩りにきたようだ。海面に浮かぶ魚影を探しているのだろう、しばらく私の頭上をぐるぐる旋回していた。両翼を広げると、私の身丈ほどにもなるミサゴのダイナミックな旋回は観えていて圧巻だった。

漫湖で確認された鳥類一覧

1. カイツブリ	26. カワセミ
2. キジバト	27. ハヤブサ
3. ゴイサギ	28. シジュウカラ
4. アオサギ	29. リュウキュウツバメ
5. ダイサギ	30. シロガシラ
6. チュウサギ	31. ヒヨドリ
7. コサギ	32. ウグイス
8. クロツラヘラサギ	33. メボソムシクイ
9. オオバン	34. メジロ
10. ムナグロ	35. ギンムクドリ
11. ダイゼン	36. ムクドリ
12. コチドリ	37. ホシムクドリ
13. シロチドリ	38. シロハラ
14. タシギ	39. イソヒヨドリ
15. チュウシャクシギ	40. キセキレイ
16. ダイシャクシギ	41. ハクセキレイ
17. ホウロクシギ	42. カワラバト※
18. アカアシシギ	43. シマキンバラ※
19. コアオアシシギ	44.
20. アオアシシギ	45.
21. キアシシギ	46.
22. イソシギ	47.
23. ハマシギ	48.
24. ミサゴ	49.
25. サシバ	50. ※は外来種

※この観察記録は、毎月実施されている鳥獣保護区の定点カウントの記録と、センターでの観察記録を基にまとめたものです。